

優良建設工事説明書

工事番号	下補第2号	工事名	新発田北部処理分区(h375他)管渠工事
施工場所	緑町1丁目他地内	請負金額	121,110,000円
工期	自 令和元年 7月1日 至 令和2年3月10日		
施工業者	新発田建設 株式会社	代表者	代表取締役社長 渡辺 明紀
現場代理人	高橋 孝栄	主任(監理)技術者	高橋 孝栄
【工事概要】 施工延長 L=280m 推進工 φ400 L=233m 推進工 φ350 L= 43m 4号レジンマンホール工 N= 1基	一次下請内容	工種	推進・マンホール工
		〃	立坑築造工
		〃	薬液注入工
		〃	家屋調査
		〃	管内TV調査
		〃	交通誘導
		業者数	6社
下請率			
成績評定点	87点		

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
推進工において、施工精度を考慮し、圧送排土工法から泥水式ジャット工法へ自主的に工法を変更し施工を行った。また、推進管の法線・高さ管理において、電磁誘導及び水レベル計の併用を提案し、使用したことで、施工精度の向上に努めていた。
以上により230mの推進工事を高い精度で完成させることができた。

【検査員】
本工事は隣接して3件の別工事が発注されていたが、安全管理を十分に実施し、かつ、約3か月工事期間を短縮させ竣工したことは評価できる。工事書類は管理項目別に分類し、適度に分冊して、インデックスの色分け、さらに一覧表や集計表で内容を整理する等、書類の作成に丁寧に取り組んでおり、見やすく理解しやすい書類であった。

【説明を補足する写真、図面、略図】



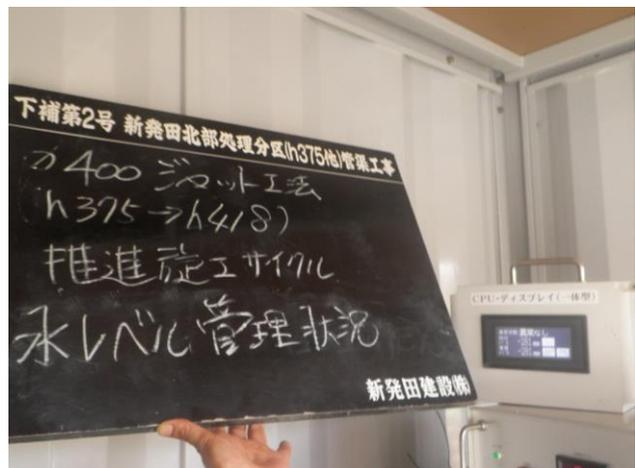
掘進機推進状況



推進状況



掘進機到達



水レベル管理状況

優良(建設)工事説明書

工事番号	下複新第1号	工事名	新発田北部処理分区新栄町中継ポンプ場建設(土木)工事
施工場所	新栄町2丁目地内	請負金額	611,679,000円
工期	自 平成30年9月27日 至 令和2年3月23日		
施工業者	株式会社伊藤組	代表者	伊藤 和彦
現場代理人	小柳 聡	主任(監理)技術者	小柳 聡

【工事概要】 汚水中継ポンプ場(地下階) N=1式 躯体工 N=1式 仮設工 N=1式 基礎工 N=1式 流入渠φ700 L=15.3m 放流渠φ400 L=2.9m(仕切弁含む) 構造物撤去工 N=1式	一次下請内容	工種	躯体工(鉄筋工・型枠工・足場工)
		"	仮設工(掘削工・山留支保工)
		"	基礎工(地盤改良工)
		"	防水工(防食被覆工)
		"	管きよ布設工(開削工)
		"	旧構造物撤去工
	業者数	12社	
下請率			
成績評定点	86点		

表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 施工に先立ち、現場照査や施工条件の把握、施工上の問題点を積極的に抽出し、その課題を的確に解決する工夫や提案等を行いながら工事を進めた。各工種ともに難易度が高く、また効率的に作業を進めるため多岐に渡る工程調整が必要であったが、積極的に現場を進める姿勢は他の模範となる工事であった。 品質、出来形、安全管理のすべてにおいて優秀な成果で竣工することができ、後続工事へ引き継ぐことができた。
	【検査員】 工事期間が544日に渡る長丁場であったが、施工管理全般において優れた技術力と管理により、良質な構造物を無事故で竣工できた。竣工図書は管理項目別に別冊で分類し、一覧表やインデックスを利用して、丁寧にまとめられていた。また、安全管理も十分に実施されていた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



本施設は土留鋼矢板が躯体外型枠となることから、止水性が求められる。漏水防止のため隅角部は特殊セクションのコーナー矢板を製作し施工した。



コラム切梁システムを採用することで従来の中間杭打設を省略することが可能になり、後続作業の施工性、躯体コンクリートの品質向上に寄与した。



マスコンクリートの温度解析を実施。膨張材による乾燥収縮及び温度変化によるひずみ低減を図るとともに、誘発目地による有害ひび割れ対策を実施した。



本施設ではGL-11.55mまでの掘削(最深部)を伴うことから、高所での危険作業を回避するため、地上で組み立てた昇降設備をクレーンにて一発架設する方法を採用。



流入渠の埋戻材に『流動化処理土』を初採用。狭隘な場所でも充填が可能であり、土砂よりも強度発生することから、将来的な沈下や陥没等を回避。



ドローンを活用し、現場進捗状況を一目で確認できるような写真管理を実施。「現場状況が分かり易い」と好評であった。



当市の下水道事業及び本施設の目的等を近隣住民に周知するため、写真やイラストを取り入れた看板を設置。



請負会社社長含め社員20名以上を動員し、現場周辺の草刈りや清掃を実施。社会貢献として工業新聞社の記事にも掲載。



新発田南高校土木課の生徒8名をインターンシップで現場に受け入れ、本施設の役割、工事内容等と丁寧に説明。将来の技術者育成に貢献した。

優良工事説明書

工事番号	下豊補第2号	工事名	豊浦南部第2処理分区(77他)管渠工事	
施工場所	新発田市 本田 地内	請負金額	72,996,000	
工期	自 令和元年 6月 5日 至 令和 2年 1月 25日			
施工業者	(株)加賀田組 下越営業所	代表者	下越営業所長 清水 周	
現場代理人	神尾 孝二	主任(監理)技術者	神尾 孝二	
【工事概要】 施工延長 L=285m 推進工φ200 L= 279m 1号マンホール工 4基 公共ます設置工 1箇所	一次下請内容	工種	推進工	
		"	交通誘導員	
		"	家屋調査	
		"	仮設電気設備	
		業者数	4社	
		下請率		
		成績評定点	85	

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
推進工において、作業時の安全対策として管内装備品落下防止器具を取り付け、無事故で完了した。推進時の出来形向上のため、推進管冷却による推進測量機器の歪み補正や路面変位測定により精度を確保した。交通量が多いが幅員の狭い県道において仮駐車場を確保し重機移動時の事故防止等を図っていた。

【総括監督員】
施工地が国道で施工時期に制限のある中、立坑位置の変更等があったが、良好な工程管理により計画通りに工事を完了させた。また、交通量の多い中、優れた安全管理のもと、無事に完了させた。竣工書類は管理項目別に見やすく分類し、項目によって別冊にして、一覧表や色別インデックスを利用するなど丁寧に書類作成されていた。

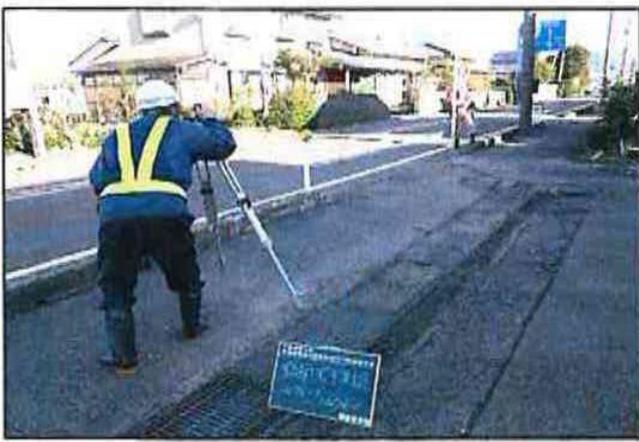
【説明を補足する写真、図面、略図】



落下防止器具設置状況



推進管の冷却状況



路面変位測定管理状況



仮駐車場配置状況

優良(建設)工事説明書

工事番号	街環第1号	工事名	街なみ環境整備事業(寺町・清水谷地区)護岸整備工事	
施工場所	中央町2丁目 地内	請負金額	15,444,000円	
工期	自 令和 1年12月 4日 至 令和2年 3月13日			
施工業者	(株)中村組	代表者	中村 俊一	
現場代理人	若月 誠	主任(監理)技術者	若月 誠	
【工事概要】 施工延長 L=25.3m 護岸工 L=25.3m 土工 1式 仮設工 1式 土留工 L=21.1m 家屋調査 1式	一次下請内容	工種	擁壁工・仮設工	
		〃	コンクリート圧送工	
		〃	家屋調査	
		〃	交通誘導	
		業者数	4社	
		下請率		
		成績評定点	85点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 本工事は河川内にコンクリート護岸を築造するものであるが、施工箇所は作業スペースが3m程度と狭く、常時水が流れるため、仮締切も必要であるなど制約が多い現場であった。このような中、矢板への止水シートの設置、仮設坂路の設置による円滑な資材搬入など独自の工夫を実施して施工にあたり、地域からの苦情等も無く、工期内に工事を完成させた。			
	【検査員】 施工場所が資材等の搬入路より離れていたが、積極的に技術提案を行い、任意仮設による仮設工の見直しを行い、安全を確保しつつ、工事を完了させた。竣工書類は管理項目別にファイルで分類し、一覧表やインデックス等を利用して内容を整理し、非常に見やすく丁寧にまとめられていた。検査時の質疑に対してもスムーズな対応が見られた。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



仮締切の矢板をシートで覆うことで止水性を高め、作業環境・品質の向上に努めた(左:設置前、右:設置後)



仮設坂路を設置し、小型ダンプによる資材搬入を実施して作業の効率化を図った

優良建設工事説明書

工事番号	自災 第1号	工事名	城北1号雨水幹線整備その3工事
施工場所	小舟町3丁目	請負金額	48,048,000
工期	自 令和 元年 9月26日 ~ 至 令和 2年 3月 6日		
施工業者	(株)石井組	代表者	代表取締役社長 石井 和郎
現場代理人	森 弘樹	主任(監理)技術者	森 弘樹
【工事概要】 施工延長 L=34m ボックスカルバート布設 L=33.7m (1800×1500) 給水管切回し工 1式 U型側溝(250) L=47m 防護柵設置(ガードレール) L=39m	一次下請内容	工種	給水管仮設・本設工
		"	供給管仮設・本設工
		"	ボックスカルバート布設工
		"	鋼矢板打込工
		"	構造物撤去工
		"	舗装工 他
		業者数	8社
下請率			
成績評定点	84		

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
当該工事は、総合評価「実績型」の工事であった。大型車両を昼夜問わず通行可能な状態で施工しなければならない現場条件に加え、水道・ガス管の切廻し等の関連業者も複数ある中で、確実な施工管理及び安全管理に努め、苦情等もなく工事を完了させた事は評価できる。

【検査員】
支障物件等の事前調査を十分行い、関係者等と調整を図り、計画工程どおりに工事を進め、かつ、適切な施工管理が実施されていた。工事書類は管理項目別に分類し別冊にして、インデックスや色付仕切り板、さらに一覧表で内容を整理し、丁寧な竣工書類の作成に取り組んでいた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



交通誘導員及び作業従事者への教育を徹底し、大型車でも通行可能な状態での本工の作業



掘削した状態での交通開放のための安全対策



複数の業者(下請等)に対する徹底した安全教育

優良建設工事説明書

工事番号	下補第1号	工事名	新発田北部処理分区(h450他)管渠工事	
施工場所	緑町1丁目地内	請負金額	102,564,000円	
工期	自 令和元年 7月3日 至 令和2年3月10日			
施工業者	株式会社 石井組	代表者	代表取締役社長 石井 和郎	
現場代理人	小山 健二	主任(監理)技術者	小山 健二	
【工事概要】 施工延長 L=279m 推進工φ400 L=238m 推進工φ200 L=33m 2号マンホール工(抗菌) N=3基 2号レジンマンホール工 N=1基 薬液注入工 N=67本	一次下請内容	工種	推進・マンホール工	
		〃	立坑築造工	
		〃	薬液注入工	
		〃	インバート工	
		業者数	4社	
成績評定点	83点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 交通量の多い幹線道路を規制して工事であったことや、関連工事との工程調整を主体的に行うことにより、トラブルなく工事を終えることができた。また、品質、出来形、安全管理において秀でていたことは他の模範とするところである。			
	【検査員】 本工事は交通量の多い都市計画道路での施工であったが、安全管理が適切に実施されていた。狭い市道入口では、施工方法に工夫を凝らし通行止めを避けて施工していた。工事書類は管理項目別に分類し、適度に分冊して、インデックスの色分け、さらに一覧表や集計表で内容を整理する等、書類の作成に丁寧に取り組んでおり、見やすく理解しやすい書類であった。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



レジン管推進状況



先導管到達



防音パネル設置による騒音対策



交通規制状況

優良(建設)工事説明書

工事番号	下紫補第2号	工事名	紫雲寺藤塚浜処理分区(796他)管渠工事	
施工場所	藤塚浜	請負金額	36,058,000	
工 期	令和元年6月25日～令和2年1月10日			
施工業者	株加藤組	代表者	加藤 正人	
現場代理人	内山 猛	主任(監理)技術者	内山 猛	
【工事概要】 施工延長 L=274m 開削工φ150 L=270m 1号マンホール工 4基 小口径マンホール工(塩ビ) 4基 公共ます設置工 4箇所	一次下請内容	工 種	家屋調査	
		"	舗装切断	
		"	インバート	
		"	管内TV調査	
		"	交通誘導	
	業者数	5社		
	下請率	/		
成績評定点				
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 工事箇所は、近接箇所において複数の別途発注工事との同時施工であったが、迂回路の調整や近隣工事との工程調整を適切に行い、トラブルなく無事工事を竣工させた。また、複数の別途発注工事と工程調整を行ったうえで、約1か月早期に工事を完成させたことは評価できる。			
	【検査員】 日々のKYミーティングや月に半日以上の安全教育、社内安全パトロール等、安全管理が良好に実施されていた。竣工書類は管理項目別に別冊とし、一覧表とインデックスを上手く利用して見やすく、内容は丁寧にまとめられていた。施工は優れた工程管理を行い、当初計画以上に進捗させて、早期に工事を完了できていた。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



管布設状況



管布設完了



交通規制状況



交通規制標識

優良建設工事説明書

工事番号	配水第2号	工事名	内竹配水場第2配水池耐震化工事	
施工場所	新発田市下内竹地内	請負金額	¥322,680,900	
工期	自 平成30年7月13日 至 令和元年12月27日			
施工業者	新発田建設(株)	代表者	代表取締役社長 渡辺 明紀	
現場代理人	鹿間 博行	主任(監理)技術者	鹿間 博行	
【工事概要】 耐震補強工事 1式 改修工事 1式	一次下請内容	工種	仮設・コンクリート工事	
		//	揚重工事	
		//	仮設・配管工事	
		//	仮設・電気工事	
		//	解体工事	
		//	墨出し工事	
		//	内外改修・防水工事	
		//	せん断補強筋工事	
		//	鉄筋工事	
		//	型枠工事	
		//	コンクリート圧送	
		//	左官工事	
		//	交通誘導	
		//	建具工事	
		//	金属工事	
//	舗装工事			
//	塗装工事			
//	竣工クリーニング			
業者数			18社	
下請率				
成績評定点			81点	

表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 頂版の解体工において、大型重機を使用せず、カッター切断方法に変更し、既存躯体の影響を最小限に抑え、騒音、粉塵の軽減に努めた。
	【検査員】 ・外部足場計画時に解体及び工事による粉塵の周辺への飛来を極力防ぐ為、外部足場を作業面より1m以上高くし、メッシュシートによる粉塵の飛散を抑えていた。 ・頂版解体時において、コンクリートカッターを積極的に採用し、粉塵、騒音の軽減に努めるとともに、個体重量を明確にし、搬出時の過積載防止を図っていた。 ・休憩所には、エアコンを設置し、適時快適に休憩が取れるようにするとともに、湯沸かし器を設置し、冬季間の手洗いが快適になるようにした。

【説明を補足する写真、図面、略図】



ロードカッターによるコンクリート切断



クレーンによる解体材搬出

優良(建設)工事説明書

工事番号	特豊補第1号	工事名	月岡処理区(a38-1他)管渠工事	
施工場所	荒川他	請負金額	83,490,000	
工期	令和1年7月22日～令和2年2月6日			
施工業者	(株)馬場工務店	代表者	馬場 亨	
現場代理人	波多野 猛	主任(監理)技術者	波多野 猛	
【工事概要】 施工延長 L=560.0m 開削工φ100 L=202.0m 開削工φ150 L=311.0m 簡易推進工 L=26.4m 1号マンホール工 N=8基 小口径マンホール N=9基 2号マンホール工 N=1基	一次下請内容	工種	開削工・マンホール工	
		〃	推進工・立坑	
		〃	舗装切断	
		〃	交通誘導警備	
		〃	管内カメラ調査工	
		〃	左官工 他	
		業者数	9社	
下請率				
成績評定点	81			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 工事箇所は交通量の多い国道での作業であったが、交通規制の工夫、事業所への交通規制の周知、看板の配置を工夫するなどし、トラブルなく工事を竣工させた。また、側溝清掃を行うなど積極的に地域に貢献した点は他工事の模範となるものである。			
	【検査員】 施工箇所が国道で工事期間に制限があったが、工法に変更等があったものの当初の計画期間どおりに工事を完了することができた。竣工書類は管理項目別に別冊で分類し、一覧表やインデックスを利用して、丁寧にまとめられており、安全管理も十分に実施されていた。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



交通規制標識



交通規制状況



推進工施工状況



側溝清掃状況

優良(建設)工事説明書

工事番号	改整第16号	工事名	滝谷地区配水管入替(開削)工事
施工場所	滝谷	請負金額	41,492,000円
工期	自 令和 1年 7月26日 至 令和 2年 1月26日		
施工業者	株式会社 馬場工務店	代表者	馬場 亨
現場代理人	此村 孝之	主任(監理)技術者	此村 孝之
【工事概要】 配水管入替工事 ③PEP φ75 L=335.1m ⑥PEP φ50 L=140.1m, (排泥)PEP φ50 L=1.9m, HIVP φ50 L=2.1m, HIVP φ25 L=1.2m ⑭PEP φ30 L=205.0m, (排泥)HIVP φ30 L=1.1m ⑮PEP φ30 L=120.1m, (排泥)HIVP φ30 L=1.7m ⑯PEP φ30 L=65.4m, (排泥)HIVP φ30 L=1.1m ⑰SUS φ50A L=9.2m(添架水管橋) 給水管改造工事 φ25…1件 φ20…34件	一次下請内容	工種	配水管布設工事
		"	土工事
		"	舗装切断・区画線工事
		"	舗装工事
		"	架設・溶接・パイプ工事
		業者数	6社
		下請率	
成績評定点		81点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 ①カラコン及びのぼり旗にて施工エリアを明示し、重機オペレーターからの「見える化」を行うことにより歩行者、一般車両との接触事故も無く安全に作業を行った。 ②生垣にブルーシート及び合板を用い覆うことにより、工事用重機の熱風接触による立ち枯れを防ぎ、安全に作業を行った。		
	【検査員】 狭い道路で施工延長も長く、入り組んだ工事路線である。また、工種・管種が複数ある中、800m以上の管渠布設の現場を整然と完了させた事は、卓越した施工監理能力があるといえる。		

【説明を補足する写真、図面、略図】



①カラコン及びのぼり旗にて施工エリアを明示し、重機オペレーターからの「見える化」を行うことにより歩行者、一般車両との接触事故も無く安全に作業を行った。



②生垣にブルーシート及び合板を用い覆うことにより、工事用重機の熱風接触による立ち枯れを防ぎ、安全に作業を行った。

優良建設工事説明書

工事番号	特加補 第3号	工事名	加治川第2処理分区(535)工事
施工場所	下中 他	請負金額	38,027,000
工期	自 令和 元年 9月30日 ~ 至 令和 2年 3月 6日		
施工業者	(有)島津管工	代表者	代表取締役 島津 郁晃
現場代理人	島津 将大	主任(監理)技術者	島津 将大
【工事概要】 施工延長 L=468m 推進工(鋼管)φ250 L=4m 開削工(圧送管)φ150 L=464m 1号マンホール(空気弁室) 1基	一次下請内容	工種	管渠推進工
		"	交通誘導
		業者数	2社
		下請率	81
		成績評定点	81

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
当該工事は圧送管の整備工事となるが、日々の施工区間を含めて施工完了区間の気密試験を毎回実施し、徹底した施工管理を行った。施工場所が農道ではあるものの、定期的に農繁期(稲刈り時期)と重複していたが関係者への周知徹底を図り苦情等もなく工事を完了させた事は評価できる。

【検査員】
過年度施工と他工区施工を含め、圧送区間全線が完了したことから、全線での気密試験を実施したことは評価できる。工事書類は管理項目別に分類・分冊し、色別インデックス等を利用して一覧表や集計表で内容を整理する等、丁寧な書類作りを行い、見やすく簡潔にまとめられていた。検査時には質問や求めた書類もスムーズに提示できていた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



日々施工毎の気密試験による施工管理



誘導員による関係者(耕作者)への適切な誘導。社内パトロールによる誘導状況の点検。

優良(建設)工事説明書

工事番号	街環第1号	工事名	街なみ環境整備事業(寺町・清水谷地区)護岸整備工事(H30繰越)	
施工場所	中央町2丁目 地内	請負金額	32,367,600円	
工期	自 平成30年10月22日 至 平成31年 4月19日			
施工業者	(株)中村組	代表者	中村 俊一	
現場代理人	中村 祐二	主任(監理)技術者	中村 祐二	
【工事概要】 施工延長 L=78.4m 石積工 A=149㎡ 土工 1式 仮設工 1式 撤去工 1式	一次下請内容	工種	護岸工・仮設工	
		〃	家屋調査	
		〃	矢板打設・引抜	
		〃	重量物揚重	
		〃	交通誘導	
		業者数	5社	
下請率				
成績評定点	81点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	<p>【主任監督員】 本工事は河川内の護岸整備工事であるが、仮締切工においては矢板にシートを設置し、施工箇所への水の流入を最小限に留めることで作業環境や品質の向上に努めた。護岸工においては、基礎コンクリートを現場打設から事前制作に自主的に変更した。これにより、湧水による品質低下を回避し、品質向上を図った。また、近隣住民への配慮を怠ることなく徹底し、苦情もなく工事を完了させた。</p> <p>【検査員】 竣工書類は管理項目別にファイルで分類し、一覧表やインデックス等を利用して内容を整理し、非常に見やすく丁寧にまとめられていた。検査時の質疑に対してもスムーズな対応が見られた。天候の変化による増水等を考慮して積極的に技術提案を行い、任意仮設による仮設工の見直しを行い、安全を確保しつつ、工事を完了させた。</p>			

【説明を補足する写真、図面、略図】



仮締切の矢板をシートで覆うことで止水性を高め、作業環境・品質の向上に努めた



護岸工の基礎コンクリートを事前に制作して据え付け、品質向上を図った

優良建設工事説明書

工事番号	下紫単第2号	工事名	紫雲寺藤塚浜処理分区(707-2他)管渠工事
施工場所	藤塚浜	請負金額	29,524,000
工期	令和元年8月5日～令和2年1月31日		
施工業者	(株)加藤組	代表者	加藤 正人
現場代理人	小林 豊	主任(監理)技術者	小林 豊
【工事概要】 施工延長 L=311m 開削工φ150 L=250m 開削工φ75 L= 56m 2号マンホール工(レジン) 1基 1号マンホール工 4基 0号マンホール工 1基 小口径マンホール工 4基 公共ます設置工 10基	一次下請内容	工種	立坑工
		"	家屋調査
		"	舗装切断
		"	インバート
		"	管内TV調査
		"	交通誘導
		業者数	6社
下請率			
成績評定点			

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
本工事は道路幅員が狭い住宅内での下水道工事であった。施工業者は、沿線住民に対し綿密な下水道工事に対する情報提供を発信したこと、通行者に対しても丁寧な交通誘導を行っており事故はもとより、苦情等が一切発生することなく工事を完成させ模範的な対外関係を構築した。立坑工はライナープレート工法であったが、工事期間が長期になるため円形立坑を承認採用したことにより大幅な工期短縮を図った。施工全般においても丁寧な作業内容であったこと、竣工図書についても見やすくわかりやすく整理されており、模範となるような工事内容であった。

【検査員】
安全教育や日々の安全ミーティング、社内パトロール等、優れた安全管理が実施できていた。工程管理に優れ当初計画通りの工程で竣工できていた。竣工書類は管理項目別に別冊とし、一覧表とインデックスを上手く利用しており丁寧にまとめられ、見やすく内容も理解しやすいものであった。

【説明を補足する写真、図面、略図】



・道路幅員が狭い路線での工事であったが、適切な施工ヤードの確保、丁寧な交通誘導により苦情等が一切発生しなかった。



・掘削工から布設、埋戻しに至る一連の作業が確実丁寧で模範となるような作業内容である。



・立坑工はライナープレート工法であったが、工事期間が長期になるため、円形立坑を承認採用したことにより大幅な工期短縮を図った。

優良(建設)工事説明書

工事番号	改整第4号	工事名	配水管入替31-4工区(開削)工事
施工場所	大手町4丁目他	請負金額	46,145,000 円
工期	自 令和1年7月30日 至 令和1年12月20日		
施工業者	新菖工業 株式会社	代表者	荒井 英之
現場代理人	居城 卓也	主任(監理)技術者	居城 卓也
【工事概要】 配水管入替工事 ・PEP φ 150 L=150.3m + 排泥PEP φ 75 L=0.7m + HIVP φ 75 L=2.0m ・①~③PEP φ 100 L=186.2m + 排泥HIVP φ 100 L=5.8m + PEP φ 75 L=1.1m + HIVP φ 75 L=3.3m ・PEP φ 75 L=12.6m ・PEP φ 50 L=11.5m 消火栓移設・防火水槽接続工事 ・PEP φ 50 L=3.1m + HIVP φ 50 L=3.2m ・地下式単口消火栓 φ75 2ヶ所 給水管改造工事 φ20~φ50 22件	一次下請内容	工種	配水管布設工事
		〃	交通誘導警備
		〃	舗装切断工事
		〃	舗装切断工事
		〃	交通誘導警備
		業者数	5社
下請率			
成績評定点	80		

表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 ・ホリエチレンパイプを保管するため、短管で棚を作成し水平を確保し紫外線からパイプを保護するため遮光シートで覆った。 ・ホリエチレン管を切断するに当たり、垂直切カッターを使用することにより切断クズが出なく切断面が滑らかな仕上がりととなった。 ・トータルステーションを使用することにより、早く正確に竣工図を作成した。
	【検査員】 工事箇所は、市街地中心部に位置し、新発田郵便局、新発田城址公園、市民文化会館に近接し非常に交通量が多いため、市民から注目される場所でもある。さらに、地下埋設管、道路配水構造物なども数多く存在する。このような条件下で、整然と施工を進め、安全や、地域住民に配慮しつつ無事に工事完了させた事は、企業としての技術力、配置技術者のきめ細やかな配慮と努力の結果であると考ええる。

【説明を補足する写真、図面、略図】



短管で棚を作成し水平を確保し紫外線からパイプを保護するため遮光シートで覆った



垂直切カッターを使用することにより切断クズが出なく切断面が滑らかな仕上がりととなった



トータルステーションを使用することにより、早く正確に竣工図を作成した

優良建設工事説明書

工事番号	下紫単第1号	工事名	紫雲寺藤塚浜処理分区(841他)管渠工事	
施工場所	藤塚浜	請負金額	31,108,000	
工期	令和元年5月24日～令和元年11月19日			
施工業者	株加藤組	代表者	加藤 正人	
現場代理人	小林 豊	主任(監理)技術者	小林 豊	
【工事概要】 施工延長 L=231m 簡易推進工φ300-150 L=0m 開削工φ150 L=225m 1号マンホール工 6基 小口径マンホール工 3基 公共ます設置工 11基	一次下請内容	工種	簡易推進工	
		〃	家屋調査	
		〃	舗装切断	
		〃	インバート	
		〃	管内TV調査	
		〃	交通誘導	
		業者数	6社	
下請率				
成績評定点				

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
本工事は道路幅員が狭い住宅内での下水道工事であった。施工業者は、沿線住民に対し綿密な下水道工事に対する情報提供を発信したこと、通行者に対しても丁寧な交通誘導を行っており事故はもとより、苦情等が一切発生することなく工事を完成させ模範的な対外関係を構築した。施工全般においても丁寧な作業内容であったこと、竣工図書についても見やすくわかりやすく整理されており、模範となるような工事内容であった。

【検査員】
竣工書類は管理項目別に別冊とし、一覧表とインデックスを上手く利用しており丁寧にまとめられ、見やすく内容も理解しやすいものであった。月に半日の安全教育や日々の安全ミーティング、社内パトロール等、確実に優れた安全管理を実施できていた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



・道路幅員が狭い路線での工事であったが、適切な施工ヤードの確保、丁寧な交通誘導により苦情等が一切発生しなかった。



・掘削工から布設、埋戻しに至る一連の作業が確実に丁寧で模範となるような作業内容である。



・簡易ウェルの排水を利用した簡易ジェットでの矢板立込みにより、周囲の振動対策と共に工事時間の短縮を行った。

優良(建設)工事説明書

工事番号	下複第2号	工事名	新発田北部処理分区(586-5他)管渠工事	
施工場所	城北町1丁目	請負金額	91,652,000円	
工期	令和1年6月27日～令和2年2月28日			
施工業者	(株)熊倉組	代表者	中村 一良	
現場代理人	横山 正樹	主任(監理)技術者	横山 正樹	
【工事概要】 施工延長 L=306m 開削工Φ75 L=22m Φ150 L=37m 推進工 Φ200 L=227m 1号マンホール工 N=8基 2号マンホール工(抗菌)N=1基 小口径マンホール N=6基 公共ます設置工 N=6箇所	一次下請内容	工種	管渠推進工	
		"	家屋調査	
		"	舗装切断工	
		"	マンホール底部工	
		"	管内TV調査	
		"	交通誘導	
		業者数	6社	
下請率				
成績評定点	86点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 推進工法では、推進管の品質(法線・基準高さ)、出来形、安全管理においても秀でていたことは他の模範とするところである。また、住宅街での施工でも段取りよく施工しかつ、近隣住民とのトラブルもなく施工できた。			
	【検査員】 周辺で4業者が下水道工事を受注しており、工事連絡会議では会長を務め工事間の調整を行った。竣工書類は管理項目別に適度に分冊とし、分類して、インデックス等を利用してわかりやすく、不足のない竣工書類が作成されていた。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



開削工、高さ確認



埋設物を避け取付管設



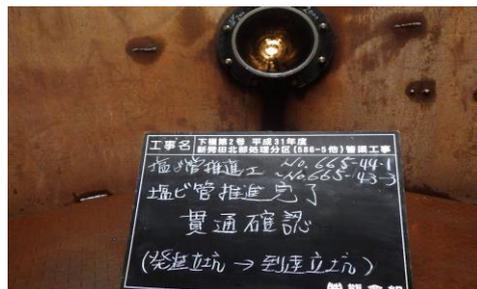
推進状況



塩ビ管取付



貫通確認



推進完了